



# Weekly News

## 龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.08.03

No.00713

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 029-863-5326 FAX 029-863-5327 <http://rcrc.web5.jp>  
 事務所：〒305-0021 茨城県つくば市古来 1451 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



### 本日のプログラム

【通常例会 08.03】  
特別月間  
会員増強委員会

### 次回のプログラム

【移動例会 08.10】  
納涼会(Hilton Narita)  
親睦委員会

7月の主な行事：なし

### 第712回例会報告

点 鐘：長友芳郎会長  
 国 歌：それでこそロータリー  
 ゲ ス ト：なし  
 ビ ジ タ ー：なし

#### 会長報告：長友芳郎



■「ロータリーあれこれ」と題した川崎ロータリークラブの出版物がありまして、著者は1964-65年第359区のカバナーを務められた笹部誠氏であります。

1949年に東京ロータリークラブがRIに復帰しており15年が経過した年です。1964年といえば、戦後10年にして、はじめてアジアで東京オリンピックが開催された年であります。小生はまだ小学生で、学校でオリンピックの中継を見ていた頃です。

この本の初版は1971年でロータリーの女性の入会は認められていませんでした。そのことにも触れた内容があります。これこれの奉仕をしましよと、奉仕の理想云々といったかたい内容ではなく、面白いエピソードや、ロータリアンには耳に痛いことも書いてありますが、押し付けがましくなく、一ページ程の内容の話ですのであきることなく、興味のある内容です。一度読んで見たらいかがですか？今日はその中から「珍談」というタイトルをお話しました。

#### 委員会報告

■ジュニアボランティアスクール開校式  
 山口会員報告  
 龍ヶ崎市社会福祉協議会主催・龍ヶ崎中央ロータリークラブ後援の「ジュニアボランティアスクール」

開校式が地域福祉会館にて催されました。  
 開催日：平成24年7月26日(木曜日)  
 時 間：午後1時30分開会 16時10分閉会  
 龍ヶ崎市地域福祉会館 大会議室  
 この日も猛暑に近い太陽が照り付ける一日でした。開校式には15名近い子どもたちと一組の家族が参加され、トリマー専門学校生の坂本さんが支援に駆けつけてくれました。

社協の担当者が指導にあたり、「はじめましてこんにちは！」の合図でスタートしました。2年間、このスクールの参加を休んでいた私にとっても久しぶりのお付合いで、子どもたちの元気な活動を写真に収めることに懸命でした。

車椅子による高齢者模擬体験、竜成園慰問のための創作活動、お手紙作りと活動が進み、開校式参加の感想文を書いてもらいました。参加者全員に参加賞として「吸水ポリマー」を我がクラブから贈り、皆さんに喜んでもらいました。当クラブの社会奉仕委員長の海老原さんからキャンデー(?)の差し入れがあり、予期しない出来事に、外での車椅子体験から戻った子どもたちにとっても喜ばれました。

社協の皆さん有り難う、坂本さん・御支援に感謝です。頑張り・元気な子どもたち!!



## 納涼会のお知らせ

クラブ親睦委員会

梅雨も例年より早く明け、いよいよ本格的な夏を迎えようとしています。とりあえず先のことは考えず、楽しい夏を乗り切りましょう。

日時：平成 24 年 8 月 10 日・金曜日

午後 7 時より 9 時まで

場所：Narita Hilton Hotel Le Ciel

成田市小菅 456 ☎0476-33-1121

集合：龍ヶ崎市役所 南駐車場 午後 6 時出発

マイクロバスにて送迎 時間厳守

会費：会員 5,000 円、家族会員 4,000 円

料理：お楽しみ 飲物：飲み放題



## 本日のプログラム

### 米山梅吉

椎塚俊裕会員



■米山梅吉は 1868 年（明治元年）2 月 4 日（※ポール・ハリスは 1868 年 4 月 19 日）、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれた。父（和田

竹造）の死後、母の故郷の静岡県長泉（現米山梅吉記念館の所在地・源頼朝に縁のある三島神社の神主）に移り、中学生までここで過ごします。12 歳の時に大地主の米山家へ移りますが、学業は優秀で文書に自信があり、政治に興味を持ち、演説も上手く、将来は新聞記者になるのが夢でありました。1883 年米山家に黙って上京し、東京府の吏員となる。しかし、アメリカで勉強したいと思うようになり、青山の東京英和学校（青山学院の前身）に入学。留学前に米山家の藤三郎に家出の許しを請い 1887 年、米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め 1895 年帰国後、三井銀行に入行しました。

その頃、学費を持ってアメリカへ行く青年は、ほとんどありませんでした。学問といえば、イギリスかドイツへ行くのが普通でしたが、**アメリカには、貧しい青年のために道が開かれていました。**スクールボーイと呼ばれ、住む部屋を与えられて、仕事のひまに学校へ行くことが許されました。梅吉青年は、この仲間に入って、まず、大学に入る準備の高等学校、ベルモントアカデミーに入学しました。それか

ら、オハイオ州ウェスレアン大学とニューヨーク州のシラキュース大学で法学を勉強しました。8 年という普通の倍もかかっていることから、学資を稼ぎながらの苦しい生活であったろうと思われますが、その分この時に、世の中のいろいろのことに触れ、得ることが多かったのではないかと思います。

その後 1918 年の渡米中、ダラスロータリークラブ（RC）のロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、彼はロータリークラブと出会いました。そして帰国後の 1920 年 10 月、米山梅吉は東京 RC を創立し会長に就任しました。幹事は福島喜三次です。

これが、日本のロータリークラブの第一歩となりました。また 1952 年、東京 RC は彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。彼は 1946 年 4 月 28 日、長泉にて逝去。お墓は記念館近くと横浜市の総持寺の 2 か所にあります。



**後記：**米山梅吉が何故留学生への奨学金制度に拘ったのか少し理解できました。アメリカ留学した時の苦学した経験が将来の米山記念奨学会の必要性を芽生えさせたのに違いありません。それは、ただ外国語を覚えるだけでなく、その国の文化・芸術、人々に直接触れ合うことにより国際交流が活発化し、それが信頼関係へと発展して行くのです。

## 出席状況

会 員	16 名	出席率	81.25 %
出 席 者	10 名		
出席免除者	2 名	Make-up	3 名
(定款第9条3節a)	1 名	米島、鴻巣、大竹会員	

## ニコニコボックス（目標額 600,000 円）

本日 6 件 11,000 円（本年度累計 53,000 円）

荒木会員：めずらしく今日まで皆勤。でも今日迄かな？

海老原会員：オリンピックで寝不足に。注意！

川上会員：先週は欠席で失礼致しました。

城出会員：久しぶりに自前で 10 名です。でも毎日暑い中で大変です。

長友会員：熱中症死さないで下さい。会員減少になります。

横山会員：夏が忘れずにやってきました。

**例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに城出 SAA  
TEL 0297-66-3258 に連絡して下さい。**